

News Release

平成 27 年 8 月 31 日

株式会社 TREE

紀州材(国産材)を活用した完全オフグリッド・タイニーハウス 「KINOKUNI Offgrid Tiny House」リリース ～災害時住居として、完全自立型エネルギー防災ハウス～

和歌山県木材協同組合連合会、森林組合連合会、建築士会などをつくる「県木造住宅生産体制強化推進協議会」による紀州材 PR 事業の一環として、オール紀州材によるタイニーハウスを製作。株式会社 TREE では、災害時にも活用可能な太陽光自然エネルギーによる完全独立型電源を装備した『KINOKUNI Offgrid Tiny House』を設計した。

<趣旨>

和歌山県木材協同組合連合会、森林組合連合会、建築士会などをつくる「県木造住宅生産体制強化推進協議会」は、紀州材の良さを PR する事業の一環として、欧米で人気が高まるタイニーハウス（小さな住居・小屋）を和歌山県田辺市内の 2 箇所に計 5 棟展示している。

その中の 2 棟を担当した株式会社 TREE は、オール紀州材によるデザインハウスを設計、今話題の自然エネルギー自立型のオフグリッド電源を組合せた『KINOKUNI Offgrid Tiny House』の開発・施工を行った。独立した電源の確保により、緊急時の避難スペースとしても活用できることから、避難生活のニーズにも応えるものである。

紀州材の特徴である木の香りや温もりの魅力に加えて、低炭素社会に必要となる自然エネルギーライフを体験できるよう、完成した 2 棟を田辺市本宮町にある渡瀬温泉キャンプ場に設置・展示中である。

このタイニーハウスは、電気の届かない森の中やキャンプ場でも快適な暮らしを過ごせるよう、屋根にソーラーパネル 4 台を設置、太陽光発電の電圧調整するコントローラーから直流交流を変換するインバーター、蓄電池、発電モニター及び節電モニターが設置されている。発電量は約 1.5kw/日で大型冷蔵庫も可能、緊急時には蓄電池との併用により 10kw 程度使用が可能である。

災害時には、小屋を数棟つなげて利用できる国産材発の完全オフグリッド防災ハウスとして、ライフライン復旧までの間、安心して電気を確保できることから、一般住宅地の離れとしても利用できるようプロモーションを展開予定。

なお、数年前よりイギリスから世界に広がり注目される「グランピング（自然の中で暮らす快適な旅/新しいキャンプスタイル）※」を目指して、タイニーハウスの居住性を活かした熊野の森や豊かな自然体験を通じた地域振興、交流促進策への活用も念頭に置いている。アウトドアブームで盛り上がる中、オートキャンプ×テントだけでなく、こうした地域資源を活用した快適な居住空間でのエコライフやナチュラルトリップへのニーズも顕在化させたいと考えている。

※グラマラス（glamorous）とキャンピング（camping）の造語

株式会社 TREE では、紀州材の新たな活用方法として、防災機能を備えたオフグリッド・タイニーハウスを積極的に進めていく方針。

<仕様>

小屋本体：住居棟&電源オフィス棟（同様） 高さ 3m×2.9m（床：5.3 m²）、紀州材（杉）及び構造用合板、屋根カルバニウム銅板、LED 電球、コンセント、折り畳み机ほか

太陽光パネル：パナソニック（日本）HIT 2 4 4W×4

バッテリー：オリエンタル（中国）10.8kw

インバーター：1500w 48V

その他、バッテリーモニター、節電モニター等付属

設置展示場所：田辺市本宮町渡瀬温泉キャンプ場

施工プロデュース：株式会社 TREE

協力：田辺市森林局、白樫木材（和歌山）、自エネ組（岡山）、GWorks（田辺市）

【お問い合わせ】

株式会社 TREE

231-0021 神奈川県横浜市中区日本大通 11 横浜情報文化センター10 階

電話：045-227-8828 Email：info@tree.vc

担当：宮城、長谷川

和歌山営業所

電話：050-3672-1288

<写真>





蓄電池（バッテリー）

下：バッテリーモニター、上：節電モニター